

# マネージメント情報

## ※三愛精神と健土健民

新しい年を迎えるにあたって私なりの今年のキーワードを考えてみました。

TPP、飼料・原油価格や資材等の値上げや高止まり、少子高齢化・人口の減少、昨年は乳価の低下がありマイナスばかりがクローズアップされている酪農ですが他の農業や他産業に比べるとまだまだ恵まれている現実があります。

昨年お客さんとした時の話を紹介します。

酪農の基本についてでした。

酪農学園大学の設立者、黒澤西蔵翁の教えである「三愛主義」に基づく「健土健民」の精神が今の(昔も)酪農にとって一番必要な事ではないかという内容でした。

酪農学園大学酪農学部のHPに図式でこの考え方を説明しています。

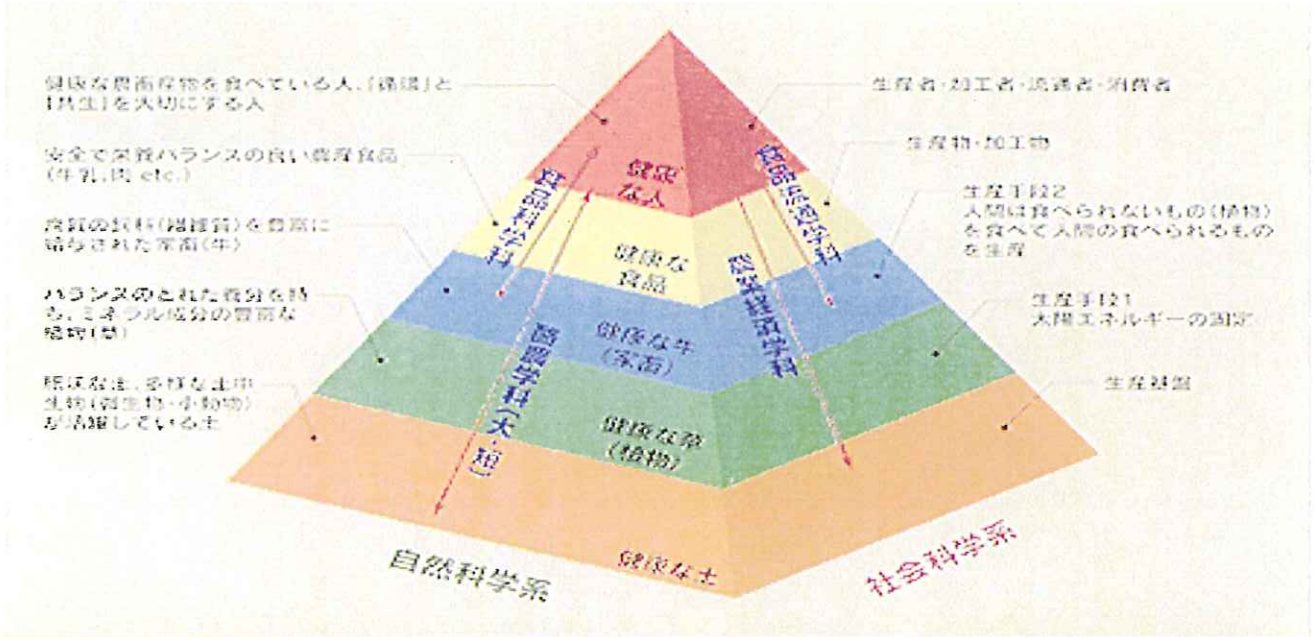


図1. 「健土健民」の考え方と酪農学部・各学科の位置付け

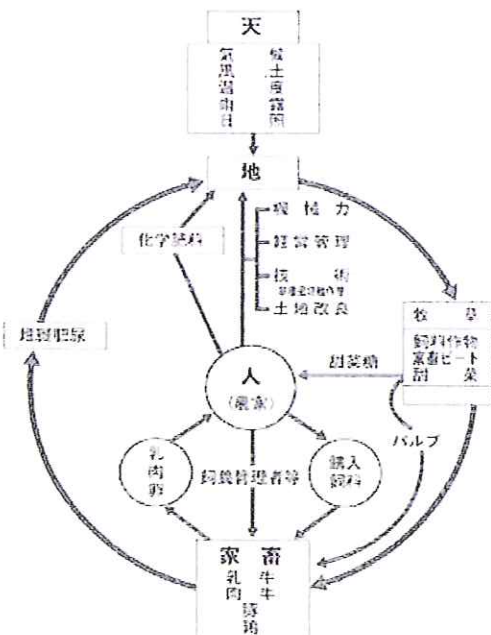


図2. 黒澤西蔵の循環農法図

本学の教育の理念は、「三愛主義」に基づく「健土健民」であり、酪農学部も当然ながら、同じ教育の理念を持つ。

図1は、「健土健民」を「土—草—牛—食—人」から構成されるピラミッドで表したものであり、「自然—植物(作物・飼料)—動物(家畜)—食料—人」による構成と考えることができる。人は、ピラミッドの頂点に位置しているが、これは、人が一番偉い存在であることを意味しているわけではなく、人は自然—植物—動物に支えられている存在であることを意味している。酪農学部の4学科は、この図の中に位置している。

そして、この「健土健民」という理念は、図2に示した「循環農法」によって実現される。酪農学部の各学科・各研究室は、獣医学



部とともに、この循環農法図の中のいずれの部分を担当しているわけである。循環農法図の各部分を担当する多くの研究室・教員が協力して、現場で使える考え方や技術を作り出すのが、酪農学部の役割である。【酪農学園大学酪農学科 HP より抜粋】

結局「土―草―牛―食―人」の「土―草―牛」のところの話になります。

この部分が北海道、しかも酪農専業地帯根室の最大のアドバンテージでもありウィークポイントでもあるという現実です。

年々いろいろな意味で草が荒れ、良質な粗飼料の確保が難しくなっているということです。このような状況の草を基礎飼料にいくら穀類を給与しても思ったように牛乳は生産されませんし健康に牛を飼う事はできません。

時間がかかってもお金がかかっても「土づくり」→「草づくり」→「牛づくり」を原点に戻って始める時ではないでしょうか？

牛が健康である限り彼らはわれわれを裏切らずに助けてくれるはずですが。現状は私たちが彼女たちを裏切っているのかもしれない。

黒澤西蔵翁と三愛精神と健土健民について検索してみました。

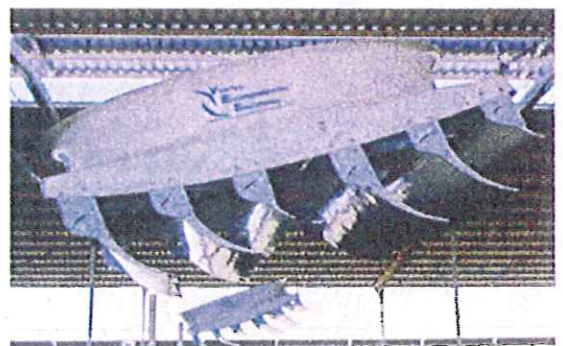
- ①「三愛精神(神を愛し、人を愛し、土を愛す)」は、宇宙の摂理を探求し、理解に務めること、隣人の存在を認め、これを理解すること、そして人類存続の礎である大地の役割を理解し、その存在を尊ぶこと、を教えています。
- ②酪農は資源循環型農業の最たるものである
- ③健やかな土地には健やかな民族がある
- ④大地の牧草にはぐくまれた乳牛は、健やかな牛乳をはぐくみ、人々の心とからだをはぐくみます。(雪印乳業HP)
- ⑤「酪農の父」宇都宮仙太郎翁が黒澤西蔵翁に言ったという  
「牛飼いには三つの“徳”がある。役人に頭を下げなくてもよい。牛には嘘をつかなくてもよい。そのうえ、牛乳は人を健康にする」。
- ⑥黒澤西蔵翁の晩年は「酪農こそ農業の最高の形態である」をモットーであると語っていました。

自分次第でまだまだ酪農には未来があるはずです。

※ 鷲山さんからの情報です。

#### サイクローン 72 インチ

VES 社が誇る最も多目的な水平型送風機です。直径 72 インチ(182.88 cm)のアルミ製の羽根 6 枚は毎分 1,557 m<sup>3</sup>を超える風をわずか 2,200 ワット(高速時)と 300 ワット(低速時)の電力消費量で送り出します。一般的な天井ファンは暖かい空気をゆっくりと上から下に移動しますが、サイクローンは低速で同様の働きをし、高速では風速の速い空気の流れを作り出してクーリングに大きな効果を発揮します。高速運転時ではファン直下で 6.1 m/秒、23 m 地点で 1.5 m/秒の風速を達成します。

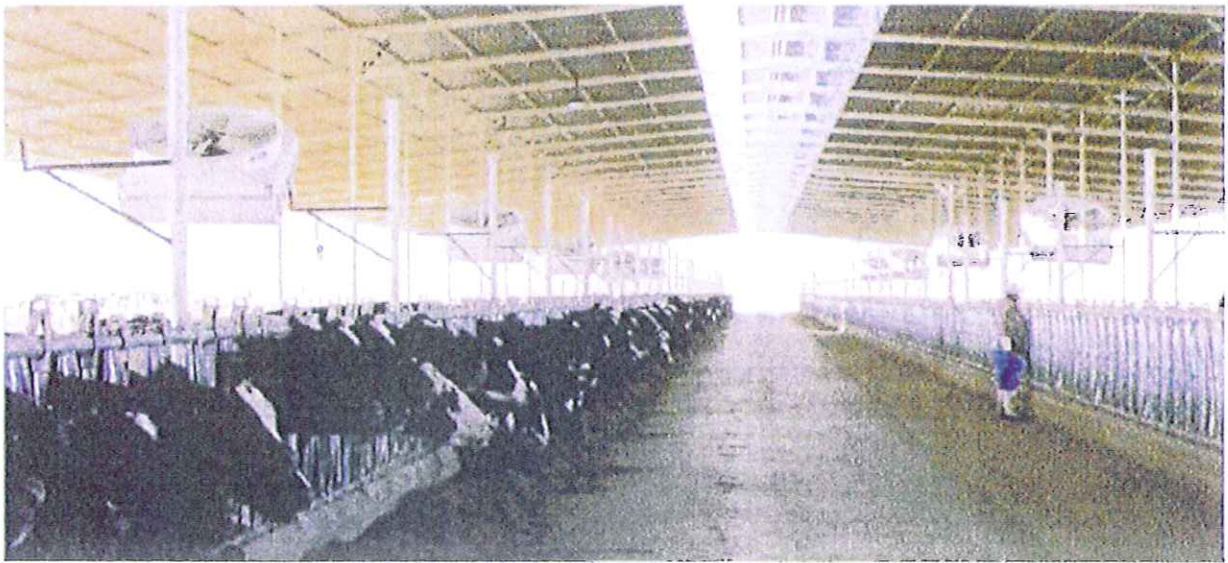


#### 【規格】

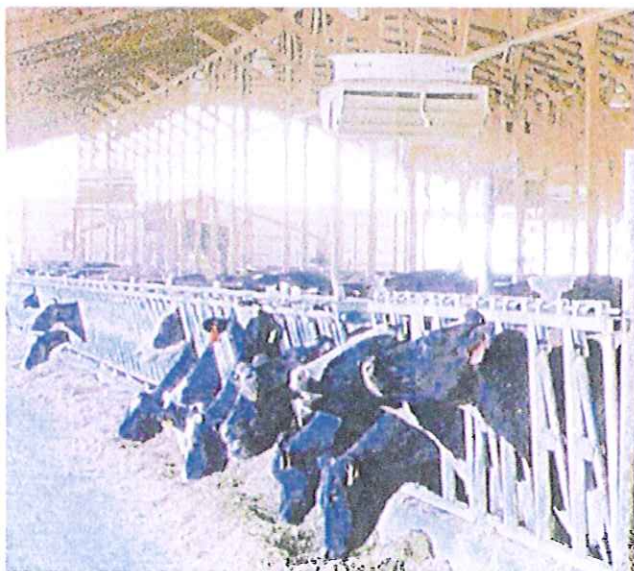
- ・ ベルト駆動、高速で 300 RPM、低速で 50 RPM
- ・ 送風距離は 2 方向送風の場合、幅 10.7 m、一方向 30 m ずつ。片側送風も可能 (60 m)。
- ・ 72 インチ (182.88 cm、6 枚羽)。
- ・ 3 馬力、高速で 2.2 KW、低速で 0.3 KW
- ・ 重量は 170 Kg
- ・ オプションで変速駆動とミストが装備可能。



一方向送風で設置された牛舎の写真



二方向送風で設置された写真



直径が72インチ(182.88cm)もあり、ファンとファンの間の風の流れが繋がり設置台数が1/4~1/5に減らすことが可能です。また、左の写真の様に下向き(直下)に設置しても自動的にフラップの角度が変わりこの状況でもファンとファンの間には十分な風速、風量が確保されるとのことです。ただ、敷料が軽いオガのような場合には飛んでいってしまいそうです。アメリカの敷料は砂が多いのでこのタイプの設置も問題ないのでしょうか。

興味のある方は私までご連絡下さい。

※ TOPセミナーの開催について

最終回第4回目のTOPセミナー(雇用セミナー)は来年1/28(金)10:00-15:00の予定で別海町交流センター「ふらと」で開催することになりました。

雇用問題でお悩みの方はとても多くいらっしゃいます。一人で悩まずに何かのヒントがあるはずですので、是非参加して下さい。

私は全ての基本は「人とどう関わるか」ということだと思っています。

.....  
・西越情報をひとつ。5年次から始まる臨床実習開始前の全国の医大80校一斉に行われるCBTという統一試験が年明け早々にあり、旭川医大で4年生101人中7番ということと相変わらず彼なりに頑張っているようです。本人曰く、「もう少し上のつもりだった」とのことでした。早いもので、残り2年ちよっどです。

・四月からは新生THMS!のはず!? あらためて本年もよろしくお願いいたします。